大学広告パネル案紹介

近鉄奈良駅構内に大学広告パネル（P7参照）を平成18年5月から設置しました。
7月末にリニューアルをする予定で学生に制作を依頼したところ、本学の卒業生を含めたプロジェクトを立ち上げ、「奈良の地で」「学び　創造」「教育　発信」のキャッチフレーズを学生のイメージで表現してくれた3つの作品となりました。
今後は、広く学生から作品を募る予定です。

デザイン案A

「大学」を連想させるモチーフを使い、「学び　創造」「教育　発信」のイメージを具現化しようと発案。構内にある備品などを使う案もあったが、最終的に「学生自身」で体現しよう～ということに至った。2人で寄り添うとできあがる「NUC（Nara University of Education）」の文字。奈良の地で一緒に学び、成長していこう！という思いを表現している。「奈良」のイメージを印象づけるため、モデル学生に鹿の角をモチーフにしたカチューシャを被せ、少し遊び心も加えて親しみやすさを強調した。

デザイン案B

奈良の特産のひとつでもある「奈良晒（さらし）」や「蚊帳」にヒントを得て、「手ぬぐい柄」をイメージしたデザインを考えてみた。
「空」は「大学・社会」、「紙ひこうき」は「未来へ飛躍する若者」を表現している。古都、奈良町といった「和」のイメージを強調するため、それぞれの図案は「手ぬぐいに染め抜かれた柄」を表現すべくアレンジを加えている。和風でありながら、かたわらに欧文表記を配置し、「北欧デザイン」のテイストも意識。「古風」に偏らないよう配慮した。

デザイン案C

「若者の写真」というリアルな実像に、手描きの伸びやかさを加えて加工。デザイン案Bの「手ぬぐい柄」の要素を背景に生かし、ファブリックアート（布の柄としてのデザイン）を意識した。
胸元から飛んで行く紙ひこうきのイラストは、モデル着用の実際のTシャツの柄から剥離して飛んで行くようなイメージ。

プロジェクトチーム

学校教育教員養成課程身体・表現コース3回生　榊原ひかり、高橋真弓、平原奈津美、増田恵子
平成6年度大学院修士課程美術教育専攻修了　廣田真理

表紙題字　名誉教授　池田桂鳳